



(上) 企画財政課で市広報の作成を体験。保育所で職場体験をしている生徒にインタビューと写真撮影を行った。

8 21-27

未来を拓く第一歩

市役所ほか

市内の中学生がさまざまな職場体験をする「キャリアアスタートウィーク」。職場体験を通して、自分の将来を考えてもらおうと8月21日から27日にかけて市内の各事業所で行われた。

市役所で職場体験をした、中川美穂さん（小方中2年生）と村松泰樹くん（小方中2年生）。初めて体験する仕事に少し戸惑いながらも、真剣に話を聞き、元氣よく返事をする2人。さまざまな仕事に積極的に取り組み、充実したキャリアアウィークになったようだ。



(中) 産業振興課でフェイスブックの記事作成を体験。錦龍の滝へ取材に行き、実際に記事の内容を考えた。(上) 総務課で防災無線の操作を体験。実践しながら避難情報のセリフの吹き込みを行った。



9 15

元氣が一番 長寿を祝う敬老会

総合市民会館ほか

長年社会に貢献してきた高齢者を敬い、長寿を祝おうと市内各地で敬老会が行われた。立戸地区の敬老会では、式典のほか多数の演芸が披露され、高齢者を祝った。演芸では、保育所や小学校の子どもたちの踊りや歌のほか、フラダンスや日本舞踊などたくさんの方々が披露され、参加者を楽しませた。元氣よく手拍子をしたり、歌を口ずさんでいた広知忠男さん（80歳）は「元氣の秘訣は週1回のラジボール卓球です。去年の大会に85歳の方が最高齢として出られていたので、その記録を破れるよう、頑張っていきたい」と今後の抱負を生き生きと語ってくれた。



(左) さまざまな演芸を見て、笑顔がふれる参加者たち。(下) リコーダーの演奏と歌を披露した、小方小学校5年生の皆さん。



(上) 約100人が参加し、お弁当を食べながら、演芸を楽しんだ。(右) 歌のときは参加者も一緒に歌い、会場が一体となって盛り上がった。